



2025. 6. 25

第108号

〒107-0062 東京都港区南青山4-18-21 南青山スカイハイツ504号 共同映画(株)内 03-6427-4425 FAX03-6434-7040

この会は、故人を納骨・合葬し、墓碑銘にその名を刻銘して、顕彰し、末永く共同して追悼します
 この会は、生前予約者を会員として、会員の意思によって運営され、総会で選ばれた理事会が、日常の運営に当たります
 この会は、思想・信教の自由を尊重し、宗教・宗派の有無を問わず、映画を愛し、平和と民主主義・人間の尊厳を守ります

ホームページアドレス <https://bohinokai.or.jp/> Eメールアドレス bohinokai@gmail.com

第34回全合葬者・合同追悼会を開催

2025年4月29日、映画人の墓碑の会は、恒例の全合葬者・合同追悼会を執り行いました。今年も好天に恵まれ、100名以上の方々への参加を得ることが出来ました。

34回目となる今年度は、埋葬者12名・墓碑刻銘のみの方は7名、合わせて19名でした。式典はピアノ伴奏にて童謡「ふるさと」と「花」を全員で合唱し、穏やかな雰囲気になりました。

司会は俳優の西村奈歩さん。最初に山口逸郎代表の挨拶。山口代表は昨年、日本被団協の活動が世界に広がりノーベル賞を受賞したこと、また、山口代表自身も約10年間、広島・長崎平和行進を続けてきたこと等を振り返り、映画人の墓碑の会がこうして続けられているのも諸先輩の努力によるものであり、戦後80年の節目の年に開かれる意義ある追悼会にしたいと挨拶、式典は岸田任職の読経、お焼香と続きました。その後、遺族の紹介、記念写真を撮って庭園に移り、墓碑の前で献花、埋葬式を行いました。

最後に皆さんと「今日の日はさようなら」という歌を合唱し、閉会いたしました。参加者の皆様、会員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

頁	主な目次	多聞寺・その他の行事
2	山口逸郎代表挨拶	○孟蘭盆会法要 7月12日(土) 11時・15時
3	第34回合葬者名	13日(日) 15時
5	ご遺族の追悼文	8月13日(水) 11時
11	会務報告	○秋彼岸会法要
12	音沙汰あり!	9月23日(火)・秋分の日 11時・14時
15	下町の会	○成道会・いのちと平和コンサート
16	事務局からのお詫び／編集後記	11月16日(日) 14時

○当番・11時～13時・月(平沢・松本・山口逸) 水(千蔵) 金(山口百)

山口逸郎代表挨拶

本日は第34回全合葬者・合同追悼会にご参加下さいまして誠にありがとうございます。

私はこれまで代表理事を務めてこられた共同映画株式会社社長の野原嘉一郎さん、親子映画東京連絡会元会長の菅野俊雄さんから6年前に代表理事を引き継ぎ務めております、翼プロダクションで映画製作をしてきました山口逸郎でございます。会を代表してご挨拶を申し上げます。

映画人の墓碑の会は設立後34年を迎えて、現在会員は186名、賛助会員は210名でございます。墓碑には合葬者630名の多数の方々の名が墓碑銘として刻まれています。

本日は2024年3月から2025年2月迄にお亡くなりになった方と、それ以前に亡くなられた方19名の方々の追悼・埋葬式とともに、全合葬者の合同追悼会として執り行われる法要でございます。

亡くなられた方々に、今日参加の理事と会員及び参加出来なかった全会員一同謹んで冥福をお祈り申し上げますと共に、哀悼の意を表します。そして、ご遺族及びご親族の皆さんに心からお悼みを申し上げます。

映画人の墓碑の会は「映画を愛し、平和と民主主義を支え、人間の尊厳を守った人々」を、本日庭園にある共同墓地へ12人の方々一人一人を顕彰・追悼し納骨され、墓碑銘のみの7人の方々と共に映画人の墓碑に刻銘致します。合奏されます皆様は様々な場で素晴らしい活躍を全うされた方々です。

今年には戦後80年、また原爆被爆80年という節目の年です。昨年「日本原水爆被害者団体協議会」通称「日本被団協」がノーベ

ル賞を受賞されました。

私ごとですが、私は映画製作者として原爆被曝をテーマにした劇映画3本、アニメ映画3本、記録映画6本、合計12本を製作してきました。また13年前の80歳から原水爆禁止国民平和行進の全国通し行進者として昨年93歳まで10回も被爆者の皆さんと共に歩いたことから我がごとのように喜ばしい受賞でした。

「映画人の墓碑の会」は今後とも平和な社会を願って活動をしていきたいと思っています。

今後、ご遺族の皆さまには亡くなられた方の遺志を引き継ぎ、ご活動されることを心から願って、ご挨拶と致します。



多聞寺の庭園は様々な木々と石が配置され、伝統あるお寺です。その一角に「映画人の墓碑」があります。

○第34回合葬者名（敬称略）

森谷 澄子	もりや すみこ	2023年12月9日没	享年97歳（刻銘のみ）
宮古とく子	みやこ とくこ	2024年2月28日没	享年100歳（刻銘のみ）
大隅夫美雄	おおすみ ふみお	2024年3月31日没	享年82歳（全骨埋葬）
飯塚紀久江	いづか きくえ	2024年4月4日没	享年71歳（全骨埋葬）
徳永 淳子	とくなが あつこ	2024年4月17日没	享年97歳（刻銘のみ）
阿部美津子	あべ みつこ	2024年4月または5月没	享年92歳（刻銘のみ）
堀 恒之	ほり つねゆき	2024年5月6日没	享年89歳（全骨埋葬）
高橋 芳男	たかはし よしお	2024年5月25日没	享年90歳（全骨埋葬）
吉田 順平	よしだ じゅんぺい	2024年7月6日没	享年91歳（全骨埋葬）
押見 信二	おしみ しんじ	2024年8月4日没	享年68歳（刻銘のみ）
平岩 道夫	ひらいわ みちお	2024年8月6日没	享年89歳（全骨埋葬）
白井 忠	しらい すなお	2024年10月11日没	享年85歳（刻銘のみ）
野口 信子	のぐち のぶこ	2024年11月18日没	享年95歳（全骨埋葬）
長井 博	ながい ひろし	2024年11月26日没	享年94歳（全骨埋葬）
野田 耕造	のだ こうぞう	2024年12月11日没	享年80歳（刻銘のみ）
西口 武郎	にしぐち たけお	2025年1月7日没	享年90歳（全骨埋葬）
深井 耀子	ふかい ようこ	2025年1月27日没	享年84歳（全骨埋葬）
井口 省司	いぐち しょうじ	2025年2月4日没	享年91歳（全骨埋葬）
田口 義明	たぐち よしあき	2025年2月27日没	享年81歳（全骨埋葬）





ご遺族の追悼文（敬称略）

森谷澄子 「生き残ったものは何をすべきか」

映像作家 藤原道夫

森谷澄子さんと私が出会ったのは57年前、夫の森谷玄さんの下で映像制作の助手を務めたときでした。

当時の澄子さんは40歳、母親であり書籍の編集者であった澄子さんは、眠る時間を削る日々もエネルギーでシユでした。

澄子さんには生涯を貫いた強い思いがありました。自分の送った青春への深い反省から、努力して戦争しない平和な社会を、次の世代に手渡したいというものでした。

澄子さんは1943年に神宮外苑で2万5千人の出陣学徒を見送っています。

その日、白いブラウスを雨に濡らして「帰ってきて下さい」と叫んだ女子学生の一人が私でした。暗い空と絶望感が閉ざされたまま残っております。（憲法「九条の会」への寄稿文より）

澄子さんは戦争が終わって東京工大研究室に就職します。その頃出会ったのが、元学生特攻隊員で朝日映画社カメラマンの、の



ちに夫となる森谷玄さんでした。二人は「生き残ったものは何をすべきか」を心に刻んで生きようと誓ったといえます。澄子さんが力を注いだ「子供を守る母親運動」も、晩年の「名作映画を観る会」も、二人の誓いの実践であったのです。

妻、紀久江の追悼会に際して

夫 飯塚頼夫

先の合同追悼会に際しましては多聞寺のご住職をはじめ、映画人の墓碑の会のみなさまに多大なお世話になりましたことを心より感謝いたします。妻の紀久江は脳梗塞のため49歳の時に教職を離れ、自宅での療養が続いておりました。その後、数ヶ月に及ぶ入院を繰り返し、亡くなる前の9年間は自ら体を動かすことができないう状態でした。それでも、最後の9年間は自宅で過ごせたことが何より良かったと思っています。

これから二人であちこちへ旅行に行こうと考えていた時に旅立った妻はさぞかし残念だったと思いますが、3人の孫に巡り逢えたことは救いでした。今一人の生活になりましたが、これからも前を向いて生きていこうと思っています。

■お託び ■「七ふく」107号3ページの合葬者名で、紀久江さんのお名前を喜久江と誤記してしまいました。大変申し訳ありませんでした。



夫、堀 恒之

結婚して54年になりましたが、一度の諍いもなく過ごせて幸せでした。昨年5月病院で、私と孫の手をとりながら、自然に旅立ちました。おだやかな、とても優しい顔でした。

堀 信子



父、高橋芳男

90歳の誕生日を祝い、もっと長生きしてね、と言ってから半年で父は旅立ってしまいました。その父より半年早くに母が旅立ちました。母の方が年下だったので「僕より4つも若いのに先に逝っちゃった」と父が呟いていました。63年連れ添った仲の良い二人でした。母に先立たれ、とても寂しそうだったので、きつと母の元へ行ったのだと思います。老夫婦二人だけでの生活が難しくなり、父の88歳の誕生日に、40年以上暮らした調布市の団地

中村裕子
柴崎郷子

主人、吉田順平を亡くして…

から、夫婦二人で老人ホームへ移住しました。ホームでは、やさしいと人気者の父でした。真面目で勉強熱心な父でした。旅立ったあとに残された書類、手紙、日記、きちんと整理して保管されていきました。姉妹二人でひもときながら、直接父から昔話をたくさん聞きたかったね、と。たくさんさんの思い出、記録を残してくれた父に感謝です。天国で少しケンカをしながらも夫婦二人、仲良く暮らしていることと思います。

吉田久子



主人が亡くなって1年近くにもなりますのに、いまだに、ふと信じられない思いをしております。主人は亡くなる1年半ほど前から入退院を繰り返すようになってしまいました。それまでは地域活動に専念し、忙しい毎日でした。私は一緒に行動しておりませんでしたので、詳しい活動がわかっておりませんでした。今残された皆さんの資料、本などを整理しております。ためて主人を知ることになり（よく頑張ってきました）もっと早くに知るべきだったと……。

来月（6月）地域で主人の「偲ぶ会」をして頂くことになって

おります。「葬儀」とはまた違って、それぞれの方々がいろいろな思いを話して下さるかもしれません。

個人的には、もっと主人との時間を持つべきでした、旅行もしたかったと悔やまれます。

信二追悼信二追悼

信二、「にっかつ」に入社できてよかったね。父親のような上司や仲間にも恵まれ、映画人として人生を全うできたことを兄は誇りに思う。入社以後は家族と別々の暮らしですが、墓の中では両親と共に過ごしてください。その時はよろしく。



兄もそのうちそちらにいきますから、そ



押見敏幸

平岩道夫遺族追悼文

社会人としてのスタートは、平凡出版の雑誌『月刊平凡』の芸能記者でした。10年余りの記者生活を経てフリーになり、海外情報をレポートしたり、旅行ガイドブックを出版。年の半分は海外を飛び回り、たまたま訪れたアフリカ・ケニアでマサイ族のひとこと、

「ポレポレ」（ゆっくり、のんびり）に出会い「人生を自然体で生きよう」と決め、以来50余年にわたり野生動物を撮り続け、全国各地で写真展や講演会を開催。

賑やかで楽しいことが大好きで、ホームパーティーに友人を招いたり、家族4人で国内や海外の各地を訪れ、美味しいものを食べ、充実した毎日を過ごしていました。ところが2020年のコロナ禍で生活が一変。亡くなる1ヶ月前には、ケニア大使館での講演会で話すことが出来、嬉しそうでした。

皆様のお仲間に入れていただき、さぞ喜んでいることでしょう。家で毎日パパのことを話しています。大好きだよ、パパ！



平岩純代
道代

故長井博追悼文

8年前の秋に母が亡くなってから、グループホームと特別養護老人ホームで過ごしておりましたが、最後はホームの職員さん達に見守られながら、母の命日の翌日に静かに息を引き取りました。生前二人で決めた「映画人の墓碑」に納骨する事が出来、今はホッとしています。これからよろしく願います。

野田耕造妻

夫は倒れて他界するまで3ヶ月と11日間眠り続けました。延命するかどうか何度も家族で話し合い、結論を迫られる毎日でした。

最近、ラジオで黒澤明の映画『生きる』を解説しているのを聞き、2・3年前に夫がこの映画のことを話してくれたことを思い出しました。

夫の友人が詠んだ句に「ふらここ」とあり、そこからこの映画

長男 長井伸介



野田良子

を思い出したようです。「ふらここ」とはブランコのことです。死を目前にした主人公がブランコに乗って「命短し恋せよ乙女」と歌う場面があると話してくれました。

後に私はテレビで初めてこの映画を観たのですが、静かな感動が押し寄せて来るのを覚えました。夫が映画について最後に語ったのが、限りある命の中で人はどう生きていくのがいいのかを考えさせてくれるこの映画であったことに、何か感慨深いものを覚えます。

父、西口武郎の思い出

子供の頃、映画に出

会った父は、完全に映画の虜になったのだと思います。生涯を通し、形を変えながら映像に関わり続けました。観るから始まり、映画をもっと知りたい、調べ学び観続け、映写技師となり映す側に。児童映画・アニメーション映画の企画・製作・上映と作る側



西口あずさ



に。この時期の父は、母曰く「亭主元気で留守が良い」状態でした。私自身も父の影響を受け、小さい頃より映画に触れ、親と共に、友人と共に、一人で仕事後に映画を観て、明日への力を貰い帰宅。そして今でも映画を楽しんでおります。映画・阪神・家族を愛し、山に登り、釣りをし、音楽を聴き、本を読み、お喋りし、美味しい物を食べ、楽しい時間を過ごした父、優しく理解のある父に、自由に育てられて幸せでした。ありがとうございます。

優しかったお姉さん、深井耀子

片野福子

何をするにも悲しみばかりが先にたちますが、私の姉は2025年1月27日に天国へ旅立ちました。去年の7月に食道がんが見つかり、余命2ヶ月と言われましたが、最後まで明るく笑顔で私達と会話をしていました。

東京大空襲の中、両親に守られて令和7年まで生き延びた姉は大変優しく私のことを支えてくれました。今頃は天国で両親と会って楽しく話している事でしょう。お姉さん、本当にありがとうございました。

追伸 先日の納骨式、親戚の方たちが大変良い温かみのある式



でしたと、皆さんに褒めていただきました。ありがとうございます。

夫、田口義明のお別れに寄せて

田口あい子

健康そのものだった夫が急な病に倒れたのは4年前の事。医師からの告知は根本的な治療法がない進行性の病気であり、これからは常時酸素吸入器を装着しての生活になるとの辛いものでした。それでもなんとか一命を取り留めた夫は、ひと言の弱音を吐く事なく、少しでも出来る事と毎日懸命にリハビリを続けておりました。また訪問医療、介護の方々からの感謝を持って接しており、いつもユーモアたっぷりで賑やかな笑い声がかかる様な時間も持つ事が出来ました。夫が最後まで自分らしさを失わず、立派に生き抜いた姿を本当に誇らしく思っておりますし、これまで家族に注いでくれた深い愛情に対して只々ありがとうございます。言葉がありません。

墓碑の会にお誘い下さった荒木オフィスの荒木正也さん、エストの酒井孝一さん、敬愛する先輩と一緒にの場所です。どうぞゆっくりと休んで下さい。本当にありがとうございました。合掌





野口信子遺族



会務報告

映画人の墓碑の会のこの期間の活動は、恒例の全合葬者・合同追悼会の諸準備と会報「七ふく107号」の3月発行についての活動でした。基本案件は理事会で行い、諸実務は担当理事及び事務局担当者に行いました。この間の会務報告は次の通りです。

会務日誌と概要（2025年2月末より6月まで）

2月26日（水）事務局会議

3月4日（火）第2回理事會 青山生涯学習館

「七ふく107号」最終原稿確認

全合葬者・合同追悼会準備について検討

3月17日（月）「七ふく107号」校正後印刷所へ

3月24日（月）「七ふく107号」完成、会員へ発送作業

事務局会議

4月15日（火）第3回理事會 青山生涯学習館

合同追悼会準備状況の最終確認と

進行次第及び役割分担確認

4月23日（水）事務局會議 追悼会資料作成・発送物点検

4月29日（火）第34回全合葬者・合同追悼会

約100名の参加にて執り行う

5月19日（月）「七ふく108号」編集會議

6月2日（月）「七ふく108号」編集會議

6月6日（金）事務局會議

6月24日（火）第4回理事會 青山生涯学習館

今後の日程・方針を検討

6月25日（水）「七ふく108号」発行・発送作業



音沙汰あり！（五十音順・敬称略）

相崎セツ 日々のご活動、本当にありがとうございます。私も年を重ね生活に不安を思っていますが、一日を大切に頑張っています。

赤瀬久美子 いつも大変お世話になっております。昨年は脚の骨折や眼の手術など散々でした。今年は元気な年にしたいと願うばかりです。皆様もお元気で。

荒木由美子 トランプ米大統領の日本人の軍備増強路線は、ますますエスカレートし、この先の日本や世界は、どうなるか心配です。日本の平和を守るためにも、今こそ映画で平和の大切さを発信して欲しいです。

井口 洋 仕事でどうしても参加できません。残念です。理事の皆様の暖かいお心遣いに深く感謝を申し上げます。

石黒とみ子 いつもお世話になり、ありがとうございます。申し訳ございません。欠席になってしまいます。よろしくお願います。

石子 順 あの人もこの人も彼方へいったな

彼方でみんな話してるな

むかしのことやりたかったことをな

のこしたいとしい人のことをな

みんな抱いたままやさしくな

彼方の世界で生きてるな

未来をよくしようとしてな

あとから来るものをな

はげましているな

声が聞こえるよ

——九十歳の独言

石河幸恵 元気に主人の手伝いをしております。

伊藤亮二・智子 追悼会の案内をいただき有難うございました。私共は今後共、不参加とさせていただきますが、よろしくご配慮下さい。

伊藤博三 2、3日前から带状疱疹で寝ています。皆さまによりしく。

猪俣 香 あいかわらず関西暮らしのため、欠席とさせていただきます。

今崎則子 お世話になっております。夫が逝って早や十五年にもなることに、今更改めて驚いております。周囲が淋しくなる中、世の動きにとり残されないう懸命に努力しているこの頃です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

宇都宮寧子 宛先住所はマンション名、部屋番号まで、正確に記してください。誤配されますので。(住所略)

大倉弥生 長い時間の外出が無理なので、今年も欠席いたします。民医連の病院を支える友の会の活動をしています。小さなサークルで、私がピアノを弾いて、なつかしい歌を歌っています。

緒方承武・弘子 いつもお世話さまになります。今後共よろしくお願ひいたします。

加藤雅子・千代 このたび合葬させていただく平岩道夫は、私の叔父、母・加藤雅子の妹のお連れ合いです。家族も生前予約をし、お仲間に加えていただくことになりました。平岩ファミリーを、どうぞよろしくお願ひ致します。加藤千代

神山瑞枝 いつもお世話ありがとうございます。函館での生活もやっと一年終わりました。息子夫婦が、お彼岸と命日には、お墓参りに行ってきています。今後ともよろしくお願ひ致します。皆様呉々もご自愛下さいませ。

木上清敏 一緒に仕事をした同年代の人たちが、少しずつ居な

くなり、心細い限りです。障害者手帳を持つ身ですが、いまま少し頑張ってみようと思います。理事のみな様に感謝

木下央子 お世話になっていきます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

草柳公子 いつもお世話になるばかりで申し訳ありません。

小山幹夫・多理子 卒寿をすぎ『切に生きる』むずかしさを実感しています。

神山征二郎 新作『シンペイ・歌こそすべて』が全国展開中です。よろしくお願ひします。

小島禮子 事務局の方、理事の方々、いつもありがとうございます。この処、坐骨神経痛がひどくなって、遠出が困難になっております。もっぱら庭でお花と少しの野菜作りを楽しみ日々です。

児玉高志 今年入会させていただきました。ありがとうございます。4月29日は失礼させていただきます。

酒井 登 90才になりますが、元気で頑張っております。会運宮の皆様には感謝です。品川図書館で週2回の上映会をしております。骨折のため欠席に変更。

佐藤充男 よろしく御願ひ致します。

菅野俊雄 返事遅れてすみませんでした。(代筆菅野尚)

菅野 尚 あて名の住所に、マンション名と部屋番号がないようです。(住所略) よろしくお願ひします。

鈴木荘介 2019年10月に着手しました『子ども食堂』活動もお蔭様で軌道に乗り、今日では毎回の参加者が100名を数えるに至りました。その活動の準備事後報告活動に、日々腐心をして居ります。それ故、当日時間を割くは到らず、失礼をいたす次第です。

進藤淳一 いつもお世話様です。40年続けてきた(株)フィルム

フェイスを昨年閉社しました。これからは、のんびり生きて行くつもりです。よろしくお願ひ致します。

瀧澤美奈 ご案内と「七ふく」をありがとうございます。合同追悼会に出席させていただきます。宜しくお願ひ致します。

武井和子 いつもご連絡ありがとうございます。会の運営には、たくさんのご苦勞があり大変だと思います。何のご協力もできず申し訳ありません。せめて寄付金だけでもと思い、送金させていただきます。よろしくお願ひいたします。

竹口安芸子 どうぞよろしくお願ひ致します。

武田一良・美穂 遅くなり大変申し訳なく存じます。お仕事で両名不参加ですが、よき会となりますように。ご連絡ありがとうございます。

田中須賀子 合同追悼会の開催のお知らせ有難うございました。出席できませんが宜敷くお願ひ申し上げます。少しばかりの寄付金を送金させて頂きます。

築山 泉 4月29日はアコーディオンの練習と重なってしまいました。サークルのメンバーで、亡き増島さんを偲んで黙とうしたいと思います。

津須利夫 腰痛がなおりません。大変です。皆さま、ご苦勞様です。有難うございます。

堤 恵子 いつも会の為に携わって下さり、とても感謝致しております。「七ふく」の中に訃報会員紹介で戦争の体験などがよく載っています。今ウクライナ・ガザの戦争報道を見るたびに「七ふく」を通して非戦の思いを聞く事ができ貴重だと感じております。今回孫の子守で出席できません。申し訳ありませんが、(お手伝いできず) よろしくお願ひ致します。

鶴嶋シマ子 役員の皆様、何時もお世話様でございます。私、元気でおりますが、遠出は無理です。色々よろしくお願ひ致します。

ます。

豊嶋真理江 いつもありがとうございます。今回も出席できず申し訳ありません。住所の変更をお願いします。(住所略)

沼倉良夫・金子 皆様には、お世話になりいつも有りがとうございます。

野原嘉一郎・正子・真理 追悼会には参列しませんが、当日は開会前に少し顔を出したいと思えます。

野村信次 いつもお世話様です。今回も失礼します。

波多野美也子 合葬頂いております母の十七回忌、父の三回忌も終え、月日が経つのが早いことを実感している日々です。残念乍ら追悼の会には出席できませんが、昨年から今年にかけて多くの映画人の方々が旅立たれ、寂しい気持ちでいっぱいです。事務局の皆様には、お世話になりっぱなしでございますが、引き続きよろしく願います。

羽瀨三良 体調がよくありません。飯島喜美さんの映画に今日の反共映画を打ち破る良機と。期待しています。

福沢久子・真理江 いつもありがとうございます。

藤倉博・邦子 合同追悼会のご案内をいただき、一年の月日の早さに驚いております。いつも理事の皆様感謝いたしております。出席したい気持ちですが、仲々上京することが出来ませず、申し訳ございません。欠席させていただきます。理事の皆様よろしく願います。

藤原民子 会の運営ではいつもお世話になり、感謝しております。返信が期日を過ぎまして、運営される理事長はじめ申し訳ありません。入院していたためなのです。

保刈よしゑ お世話になります。何事も大変な年令になり困っています。つい忘れる事も多く、返事がおくれてすみません。よろしく願います。

堀田泰寛 墓碑の会を運営される理事長はじめ理事の皆様ご苦勞様でございます。今回第34回合同追悼会に出席出来ず、残念です。よろしく願います。

本多利美 母が亡くなって一年が過ぎた頃から、ようやく遺品整理を始めました。思い出があふれていて、のんびり楽しく作業をしております。

蒔野富美子 転居しました。(住所略)

増島秀男 遅くなり、すいませんでした。

松浦邦子 転居しました。(住所略)

松田容子 いつもお知らせをありがとうございます。今年も出席できませんが、合葬されている父母、皆さまを想う一日にしたいと思っています。

真壁浩子 お世話になっております。参加できませんが、どうぞよろしく願います。

御山幸枝 皆様、お疲れ様です。

矢島るみ子 いつもお世話になってありがとうございます。

矢野 徹 2024年3月31日に小さな診療所を閉院し、その後は、散歩、読書、DVDで古い映画を見たりしていますが、もう一つ、やる気が出ず、外に出て人と会うのが億劫な感じで、家に閉じ籠っています。早く「春」になると良いのですが。

山川英明・まり おかげさまで、夫婦共々充実した毎日を送っております。皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

横田元一郎・真知子 車椅子生活になり、外出がむずかしくなりました。真知子

★以下の4名の方はお名前がないので、お心当たりの人は事務局にお知らせください。

杉並消印の葉書 いつもお世話様です。足が痛く余り遠くに出

掛けず毎日を送っております。出席出来ず申し訳ございません。
小岩消印の葉書 ご案内ありがとうございます。外出が思うように出来なくなってしまう、まことに残念でございます。みな様のご健康をお祈りいたします。住所が変わりました。(住所略)
さいたま新都心の消印の葉書 役員の皆様 いつも大変お世話になっております。ありがとうございます。今回も参加できませんが、よろしくお願い致します。

所沢西消印の葉書 お世話になっております。申しわけありませんが、不参加とさせていただきます。足がちょっとー。

そのほか以下の方々からも返信をいただきました。(敬称略)

飯田幸光・石川清・石川綾子・石河友・石堂彰彦・石堂真理子
伊東範彦・津須亮子・津須典子・宇都宮寧子・小谷江・小谷稔子
近藤高子・齋藤雅子・坂泰子・新堀統宮子・高崎麻紀子
武田一男・中田新一・平田志津子・前島潤一郎・水口泰江
三田村律子・吉岡千恵子・吉田理恵

訃報

川村 明さん	2025年3月7日	享年75歳
中村美智子さん	2025年3月20日	享年94歳
田中 一子さん	2025年4月3日	享年99歳
熊谷 秀雄さん	2025年5月29日	享年83歳

毎年1月3日の七福神巡りに御神酒を持って参加して下さっていた「下町人間の会」の川杉元延理事長が5月に亡くなりました。映画人の墓碑の会のメンバーになっているその会とは…

下町人間の会は故山口義夫氏らが中心となって立ち上げ、庶民のくらしと文化、平和と民主主義を守り、誰もが人間らしく生きられる世の中をめざして活動しています。

四季の佳き日に、春は「大山の天狗講」戦争反対・民族融合・平和祈願酒祭りを合言葉に多くの有名無名の文化人がつどいました。発起人には江戸川乱歩の名前も見られます。先代の故林家正蔵(彦六)師匠も参加していた由…。戦災犠牲者追悼、3月10日の言問橋際の追悼碑前のつどいと、7月最終土曜の花火のつどい。8月の平和のつどいは緑濃い上野森で厳かに執り行われていました。(上野東照宮に30年間点っていた「広島・長崎の火」は福島楢葉町の宝鏡寺で「非核の火」として点っています。)

歴史と文化を巡る旅行会では千曲の「ちひろ美術館」や「無言館」、小布施散策、茅野蓼科と諏訪大社「小宮御柱祭」など、忘れがたい思い出ばかり。秋深い一日は「庶民文化賞」です。庶民文化賞はコロナ禍の休止が有りましたが35回を重ね、庶民文化賞167名、功労賞(故人に贈られる)66名の方々が受賞しています。贈呈式と祝賀会は賑々しく下町(庶民)文化ここにあり、下町のノーベル(平和)賞と言われるゆえんもかくありなん。映画人の墓碑に刻まれた多くの方も受賞されています。

会の趣意書には、風雪に耐えた日本民族の本質を把握し、今日のわれわれの生活と行動に活かし、再び戦争につながる一切の悪虐と組せず「我々は下町庶民文化の畑に新しくタネまく耕作者となろう」と謳っています。

下町総研代表 富岡 豊

事務局からのお詫び

会員担当理事 千蔵眞理

3月24日に発送した第34回全合葬者・合同追悼会のご案内につきまして、住所録の不備で二十数名分が2週間ほどかかり戻って来ました。再度確認して書き直し、急ぎ送りましたが、最近の郵便事情で申し込み期限以降に受け取られた方には、本当に申しわけありませんでした。重ねてお詫び致します。

パソコンに疎い私のために、10年前の入会時に「千蔵さんが理事を辞めるまでは手伝うよ」と言ってくれた川村明さんが病を抱え、歩行困難で杖をつきながら毎水曜日作業してくれ、また、介護等で私が出来ない時も対応してくれていました。会員の名前、住所、そして後見人の方の情報も把握してくれて、頼もしい存在でした。

ところが12月18日、「七ふく」106号用に住所確認、シールを印刷したのが最後となりました。24日に検診、即入院となり、治療はもう出来ないと言われ、3月7日永眠されました。混乱の中で、ご迷惑をお掛けしました。

私もこの十数年、母の介護と見送り、遺品整理も出来ず、続いて主人の介護、休まる暇ありません。会員の皆様への対応等、頭の回転も悪くなり、うっかりが多くなりました。どうぞ皆様、力を貸してください。今期は理事選です。オネガイします。

編集後記

○平沢清一 私を含め「墓碑の会」会員も多く所属している「日本映画復興会議」では、毎年、平和や民主主義、人権の擁護に貢

献した映画に、「日本映画復興賞」を出しています。今年で42回目を迎える贈呈式が、先日開催されました。受賞作は『シンペイ』歌こそすべて』『ぼくが生きてる、ふたつの世界』『拳と祈り』袴田巖の生涯』『映画 ○月○日、区長になる女。』『レッド・パーズ』今に続く負の遺産』『骨を掘る男』。それぞれの作品の監督やプロデューサーに出席いただき、盛会のうちに終えることができました。私にとっては様々な映画人の皆さんと交流できる貴重な場となっています。今回は出席された受賞者と、思いがけないつながりがあるとも分かり、個人的にも印象深い贈呈式でした。

○堀田敏子 4月29日の第34回全合葬者・合同追悼会への出欠のお葉書に書かれた追悼会への思い、近況を「音沙汰あり！」に載せるために、今回も引き続き取り組みました。送られてきた葉書は読みづらい字も多く、拡大鏡を使い、また前号の「音沙汰あり！」を見て、この方ならばこのようなコメントをなさるだろうと、想像を膨らませながら取り組んでいった。近況報告に続き、会の運営の役員への労いの言葉に、本当に感謝の気持ちにいっぱいになる。今回は、出欠葉書にコメントはあるものの、名前を書き忘れた方々が多く、ハガキの消印に注目してみた。

突然ですが、夫の堀田泰寛が朝早くに新聞を読もうと手を伸ばすと、体が崩れ落ちて倒れてしまった。救急車で東京女子医大へ緊急搬送され、SCU(ストローク・ケア・ユニット)に入院しました。二度目の脳梗塞でした。早期リハビリが大事で早速開始され、ぶらぶらしていた右手が二日目には力が入り、強く握ることが出来るではないか！また、歩くりハビリでは、腕を振り力強く歩くことも出来ている。堀田は、再生したと信じたい！